

ほとけの 混和会だより

令和六年七月
東光院
東大寺

第173号



私達は「一隅を照らす」と
言う活動を行っております。

一隅を照らすとは、
一人ひとりが心豊かな人間
になり、平和で明るい世の中
を共に築いて行こうと言う
社会啓発運動です。

天台宗の開祖、伝教大師
最澄様のお言葉で、道心い
ゆる慈悲の御心を持って、
一隅を照らし、人々を導く
人は国の宝である。と言う
言葉から引用された者で、
仏道の信仰と実践活動のスロ
ーガンと成っております。

この運動の実践方法とし
て、「生命」「奉仕」「共生」
この三つの柱が掲げられてお

ります。

「生命」とは、私達は人間
に生まれたことにまず感謝
の念を捧げ、大自然の
営みの中で様々な恩恵を
頂きながら生きて来られ
た御先祖様や両親、この
命のお陰で私達は今この
世に生かされて居ることを
自覚することです。有り
ます。そして未来に生きる
子どもたちの為に、私たち
は御先祖様によって培わ
れた正しい人間のあり方
や生命の尊さを伝えて行
き、新しい命の誕生を心
から祝福しましょうと言
う事です。

「奉仕」とは、普段から何
事にも「ありがとうござ
います」という素直な感
謝の気持ちと、「おかげ
さま」「お互いさま」とい
う助け合いの心です。

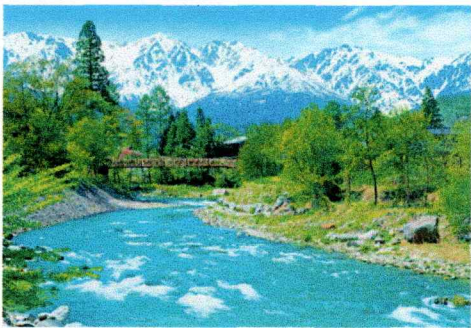
そして奉仕は仏教でい
う布施の精神を実践する
ことで、見返りを求めな
い無条件の愛です。
地域はもとより世界中が

平和に暮らすには、慈しみ
と思いやりの心で、共に心を
合わせ協力し合う奉仕の心
慈愛心で生きる事です。

「共生」とは、おいしい空
気、清らかな水、大地から
与えられる食物や天然資
源、これらの恵みは私たちが
生きる源です。しかし、これ
らは決して無尽蔵ではあり
ません限りあるものです。

そして大自然の営みの中
かで育まれた様々な命を尊
び感謝の念を捧げて、共に
生きると言う事です。

よって自然と私達、共に生
きて、共に生かされ、共に輝
き、共に照らし合えるよう
少ない欲望の元に、大自



然の営
みに畏
敬の念
を捧げ
て参り
たいと
願って
おりま
す。合掌
亮観拝



落花生の花
落花生は地上で花を咲かせ
地下に実を付けます。

私の唯一の楽しみである家
庭菜園、と言っても最近では耕作
放棄地も沢山あって、私が管理
している畑は三千坪ぐらいあり
ます。

しかし、実際は半分以上空
き地に成っていて、ただ草が生
えないように管理していると言
うだけの事です。

その畑で、少しでも「生命」
「奉仕」「共生」この尊さを実感
出来るように、檀信徒の皆様
と共に、おそば、サツマイモ、落
花生、大豆、ジャガイモ、その
他、各種の野菜などを栽培し
ながら、自然と私達そして人と
人、共に生きるコミュニケーション
を深めたいと願っております。
もし、興味がありましたらご
連絡下さい。
亮観拝

日本仏教に登場する
仏様を毎号少しづつご
紹介。今回は変わり種
で「藤原道長と仏教」と
題しご紹介します。

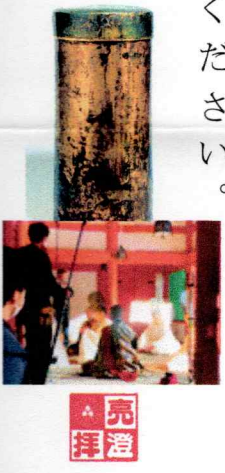
●藤原道長と仏教

大河ドラマでは陰陽師
との関係が描かれる藤
原道長ですが実は熱心
な仏教徒であり、様々
な指南指導に比叡山延
暦寺の僧侶が関わって
おりました。

その中でも紫式部の書
いた「源氏物語」内に登
場する「横川の僧都」の
モデルとされる「恵心僧
都源信」と言う僧侶と
交流が深く、病氣平癒
の祈禱を頼んだという
記録や、源信の教えに
基づいて建立した寺院
等が残されており、
そんな道長はとても陰
しい霊山とされ平安貴
族から重要視されてい
た奈良県金峯山への参
詣を実行します。それ
を止め、読経や写経を
し身を清めてから登山
に挑み、京を出て八日

目に無事登頂します。
山頂では道長が自ら
写経した法華経等合
わせて十五巻を銅に金
を塗った筒に納め埋納
し、天皇へ嫁いだ娘の
祈願を行いました。
こちらの霊山や聖域
にお経を埋納するとい
う行為はこれが初とさ
い、以後全国でお経を
埋める経塚が造られる
ようになりました。
実はこの話と縁があ
り、九八六年に東光院
を開山したのが源信と
され、金峯山への参拝
に道長に同行した僧と
いうのが源信と兄弟弟
子の覚運という僧と言
われています。

大河ドラマ「光る君へ」
にて金峯山詣の話も
今後放送されるのです
が、実はこの度同行し
た僧役として撮影に協
力して参りました。
ドラマでは三四話・三
五話の物語になりま
す。宜しければご視聴
ください。



甘露の法雨

今日は、六月二十八日、
朝から雨模様、何をするにも、
気が沸いてきません。

このお便りの締め切りはす
に過ぎて、お盆の準備も未だ手
付かず、心は重く、ゆうつな朝
を迎えております。

しかし仏様は雨は大地を潤
し、様々な命を宿す生命の源で
ありますよ。全て肯定的に受け
止めなさい。「甘露の法雨」と言
う教えを説いて下さいました。

「雨」と言う大自然の営みの
中で植物も動物も、そして私達
人類も共に生かされて居るわ
けであります。よって今日の雨
も否定的に受け止めるのでは無
く、肯定的に「おかげさま」と感
謝の念を捧げて心は晴れやかに
務めて参りたいと存じます。
亮観拜

自然と私達
そして人と人
共に生きて
共に生かさ
共に生きる

インドで生まれた仏教の教え
は大自然大宇宙の真理と慈悲
の教えを説かれた教えです。

その仏教の教えは、孫悟空に
登場する三蔵法師たちによつ
て、中国に伝わり、中国の儒教
いわゆる孔子の「仁義礼智信」の
道徳と合わさった独自の仏教へ
として進化して行きます。

更に、儒教と一緒に
仏教の教えは、聖徳太子の奈良
時代に日本に伝わります。

そして日本のよるの神々、
いわゆる神道と仏教が一緒にな
った日本独自の仏教が形成され
て来しました。

しかし、中国に於いても日本
に於いても仏教の教えが受け入
れられるようになるには様々な
奮闘が有ったようです。

私達の掲げる「共生」、昨今の
様々な価値観をどのように受け
入れて行くか、新たな進化に目
覚める時かと思えます。亮観拜